

みんなの！！



安来市加納美術館

つうしん

2022年10月
No.009

安来市加納美術館 発行

鳥根県安来市

広瀬町布部 345-27

☎ 0854-36-0880

<https://www.art-kano.jp/>

f Instagram 安来市加納美術館

発行 2022年10月

No.009

企画展 島田^{こうき}皓紀・内田^{ようさい}洋彩 水墨画の世界 開催！

安来市伯太町安田出身でお寺の住職を務めながら、芸術分野においても国際的に活躍された水墨画家の島田皓紀さん（1940～2016）。門下生で安来市切川町在住、現在活躍中の内田洋彩さん（1942～）。今回の企画展は、この2人の師弟展を開催します。

とくに内田さんの作品 安来十景では、水墨画を通して地元の風景の素晴らしさを知っていただきたいと思えます。

10月30日^日 ～ 12月24日^土

会期中の休館日：毎週火曜日

開館時間 / 9:00～16:30 (入館は16時まで)

入館料 / 一般1,100円 高校生・大学生550円 小・中学生無料
障がい者手帳、及びこれに準ずる手帳をお持ちの方と付き添いの方1名無料



©内田洋彩「奔流」2000年 全国公募総合水墨画展大賞作品



新型コロナウイルス感染症の影響により予定が変更になる場合があります。
詳しくは美術館HPまたはお電話でお問い合わせください。



美術館HP

同時開催

今伝えたい、
加納莞薔の想い

常設展

平和を求め続けた画家・加納莞薔。戦後日本人フィリピンBC戦犯の助命嘆願書をフィリピン大統領をはじめ、多くの要人たちに送り続けました。

絵画作品と平和への活動の軌跡を展示し、平和を求め続けた想いを伝えます。

関連イベント

参加費:無料 (入館料は必要です)

11/6 (日)

12/4 (日)

内田洋彩さんによる
席画 (ライブペインティング)

時間: ①10:30～11:30

②13:30～14:30

会場: 美術館展示室

内田さんに即興で水墨画を描いていただきます！

せきが席画とは....

宴会や集会の席上などで注文に応じて絵を描くこと。また、その絵のことを言います。



11/20 (日) 内田洋彩さんによる
トークイベント (講演会)
「水墨画と私」

時間: 13:30～15:00

お話し: 内田洋彩さん

会場: 布部交流センター (美術館となり)

内田さんの水墨画にイメージを得て、できた歌「ふるさと景色・やすぎ」の演奏も。

演奏: 石田光輝さん
歌: 長谷川恭子さん

11/27 (日) 対話型鑑賞会
アートdeトーク

時間: ①11:00～

②13:30～

ナビゲーター: 春日美由紀さん (みるみるの会)

会場: 美術館展示室

作品についてお話ししながら鑑賞します。気軽に参加OK!

今後の企画展

2023.1.11 → 3.26 「安来ゆかりの美術家たち2」



安来市
加納美術館の

聞かせて!!お客様のこえ

美術館運営をよりよくしていくため、アンケートを実施しています。
その中からいくつかご紹介し、ご意見ご要望にお答えします。

期間

2022年
9月10日
↓
10月24日

企画展 「土門拳記念館コレクション展
土門拳ー肉眼を超えたレンズー」
同時開催 常設展 「今伝えたい 加納莞薔の想い」

土門拳展について

60代
出雲市
男性

見る者にうったえ
かける名作

古寺巡礼の作品は、すさまじいピントと光と影のコントラストが、仏像に命を与え、その美や本質を浮かび上がらせ、見る者にうったえかける名作でした。

30代
安来市
男性

近くでやって
もらえて嬉しい

学生の頃から好きで写真集を何度も見ています。土門拳記念館のある山形にはなかなか行けないので、こんなに近くでやってもらえて喜びました。

加納莞薔について

70代
出雲市
男女

平和の大切さを
訴えるすごい展示

「戦争はあやまり」だと、痛感します。平和の大切さを訴えるすごい展示です。莞薔さんの功績に敬意を表します。

60代
島根県
男性

平和への願いを
常に伝えることは
大切

平和への願いを常に伝えることは大切であるので常設展を設置することは良いことである。

20代
安来市
女性

漢字に
読み仮名を

説明文について、漢字が難しく読めない所がいくつかありました。読み仮名がふってあると助かりました。

善処
します

ご不便をおかけし申し訳ございませんでした。ご意見をふまえ、今後の展示で改善していきたいと思えます。

60代
米子市
女性

絵を初めて見て
好きになった

莞薔さんのフィリピン大統領への手紙には感動しました。絵を初めて見て、とても色合いなど好きになりました。

20代
出雲市
女性

とてもきれいで
おどろいた

美術館自体がとてもきれいでおどろきました。また来たいと思います。

イベントの記録

ワークショップ ふべ 布部を写そう撮影会

講師：市川修平さん(尼子写真クラブ事務局)

2022年
10月1日(土)
@布部各所

美術館の地元布部を巡りながら、ここでしか撮れない自然や文化をカメラで撮影しようというワークショップ。講師に、広瀬町の写真同好会 尼子写真クラブ事務局を務める市川修平さんを迎え、「光と布部」をテーマに参加者のみなさんそれぞれ撮影を楽しめました。

この日は、地元で100年以上続く酒蔵の青砥酒造さん、江戸時代から続く鍛冶屋の鍛冶工房弘光さん、伝統を継承し今年新しく工房兼店舗を開業された広瀬和紙の紙季漉さんにご協力をいただき、店舗や工房内を特別に撮影させていただきました。普段は入る事のできない場所や作業風景まで撮影することができ、参加者の皆さん大満足の様子でした。



青砥酒造さんでは、酒造りのタンクが並ぶ蔵の内部まで見学させていただきました。



鍛冶工房弘光さんでは、この日のために珍しい工芸品などをしつらえて見せていただきました。



紙季漉さんでは工房内で作業工程も説明していただきました。